

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	仲真紀子	所属	北海道大学文学研究科
研究集会等名称	「法・矯正領域における心理実務家研修プログラム」研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 19名 (うち認定心理士 0名) 非会員 3名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>以下の2回、「法と心理学者による実務家研修」を実施した。この研修は、新学術領域研究「法と人間科学」との共催である。 助成金は通信費 (パンフレット送付費用) として用いた。</p> <p>(1) 2012年6月1日 (金) 14:30~17:00 岡山大学津島キャンパスにて 「市民と育む法意識：法教育の理論と実践」 講師：梅田比奈子先生 (横浜市教育委員会)、外山紀子先生 (津田塾大学教授)、村松剛先生 (横浜弁護士会)、吉岡昌紀先生 (清泉女子大学) コーディネーター：唐沢穰先生 (名古屋大学) 内容・成果： 外山氏が社会認識の発達について、吉岡氏が道德教育と法教育の共通点と相違点について講演を行った。また、梅田氏が小学校での法教育の実践例、村松氏が中学校での実践例について講演を行った。研修の参加者は計30名で、研究者 (心理学者・法学者・社会学者) のみならず、弁護士、検察官にもご参加いただいた。</p> <p>(2) 2012年9月14日 (金) 13:00~17:00 専修大学生田キャンパスにて 「コミュニケーション弱者のための取り調べ技法：「情報収集アプローチ」の基礎」 講師：高木光太郎先生 (青山学院大学)、仲真紀子 (北海道大学) 内容・成果： 高木氏は「コミュニケーション弱者への取り調べの問題点」について、仲は「情報収集アプローチの実際」について講演を行った。続く面接演習では、4名1グループとなり、各々に面接者、被面接者、バックスタッフ (2名) の役割を与え、ロールプレイを実施した。演習後の質疑では、面接手順・方法に関する様々な質問がなされた。警察関係者を含む実務家34名にご参加いただいた。</p>		